



ユアサ商事株式会社

証券コード 8074
決算説明会資料

2016年4月-2017年3月
2017年3月期
決算説明会

2017年5月16日

代表取締役社長 田村 博之



目次

- | | |
|-----------------------------------|------|
| 1. 2017年3月期 決算概要 | P 2 |
| 2. 2018年3月期 業績計画 | P 11 |
| 3. 新中期経営計画「Growing Together 2020」 | P 15 |

2017年3月期 決算概要

連結損益計算書の概要



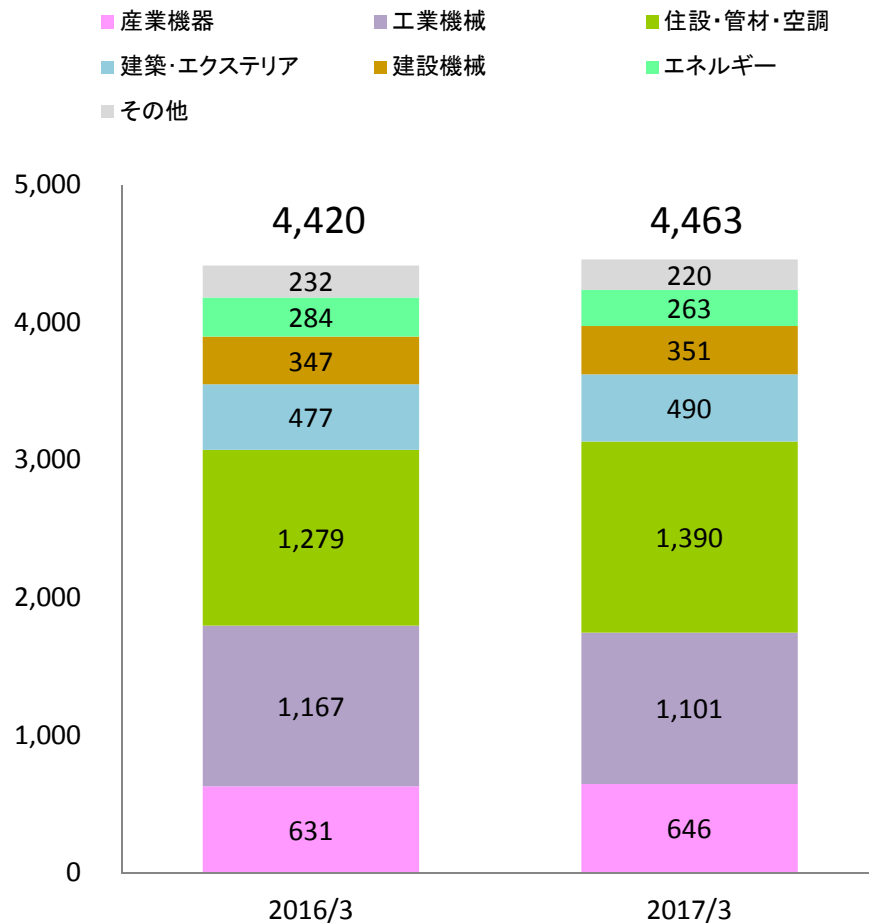
(単位：億円)	2016年3月期	2017年3月期	増減率	開示予想	開示予想 対比
	実績	実績			
売上高	4,420	4,463	+1.0%	4,470	△0.1%
売上総利益	405	426	+5.2%	-	-
(売上総利益率)	9.2%	9.6%	+0.4 ポイント	-	-
販売費及び一般管理費	301	317	+5.1%	-	-
営業利益	103	109	+5.5%	105	+4.0%
(営業利益率)	2.3%	2.4%	+0.1 ポイント	2.3%	+0.1 ポイント
経常利益	110	117	+6.0%	113	+3.6%
(経常利益率)	2.5%	2.6%	+0.1 ポイント	2.5%	+0.1 ポイント
税金等調整前 当期純利益	107	116	+8.3%	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	71	77	+8.2%	75	+3.7%

セグメント別売上高（2期比較）

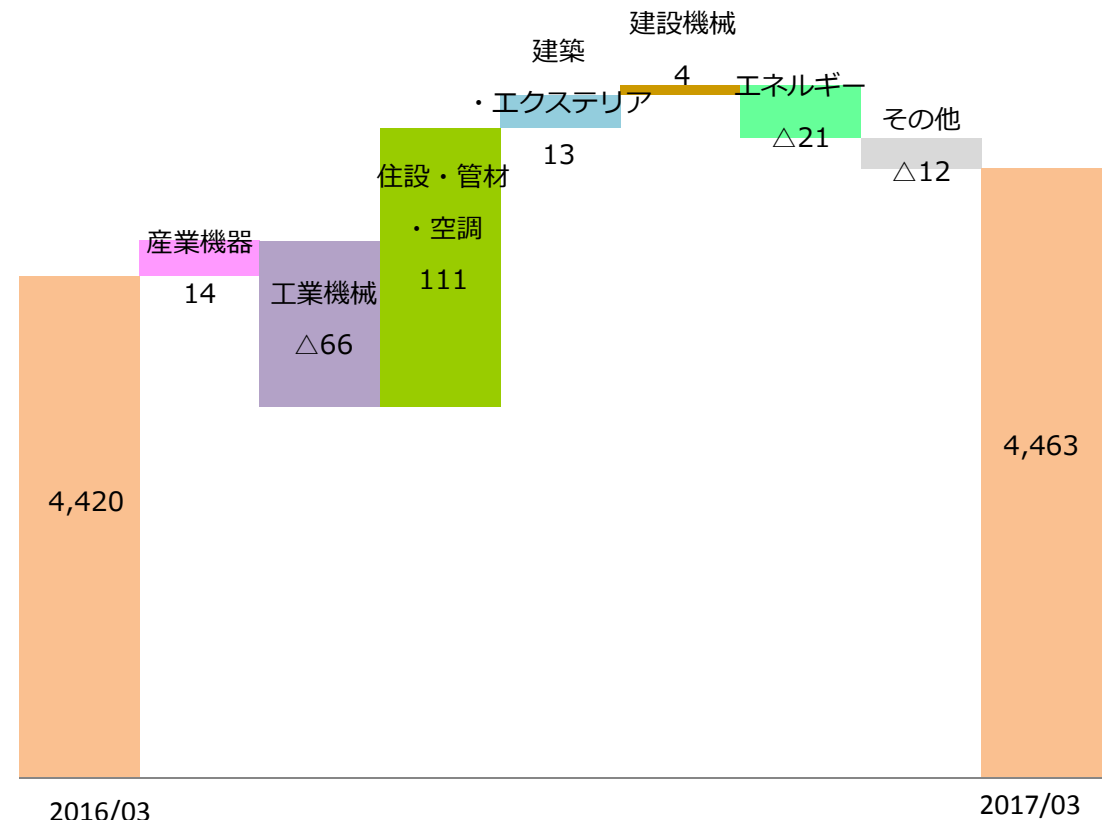
Growing Together
ともに挑む。

- 産業機器：自動車・航空機関連を中心に、切削工具や測定機器、制御機器等の販売が堅調に推移し売上増加
- 工業機械：海外、特に中国やアジア新興国の景気減速懸念の影響を受けて売上が減少
- 住設・管材・空調：新設住宅着工戸数の緩やかな回復やリフォーム需要により、住宅設備や空調の売上が増加

セグメント別 売上高 （単位：億円）



セグメント別 売上高増減 （単位：億円）



売上総利益・販売管理費・営業利益・経常利益・当期純利益

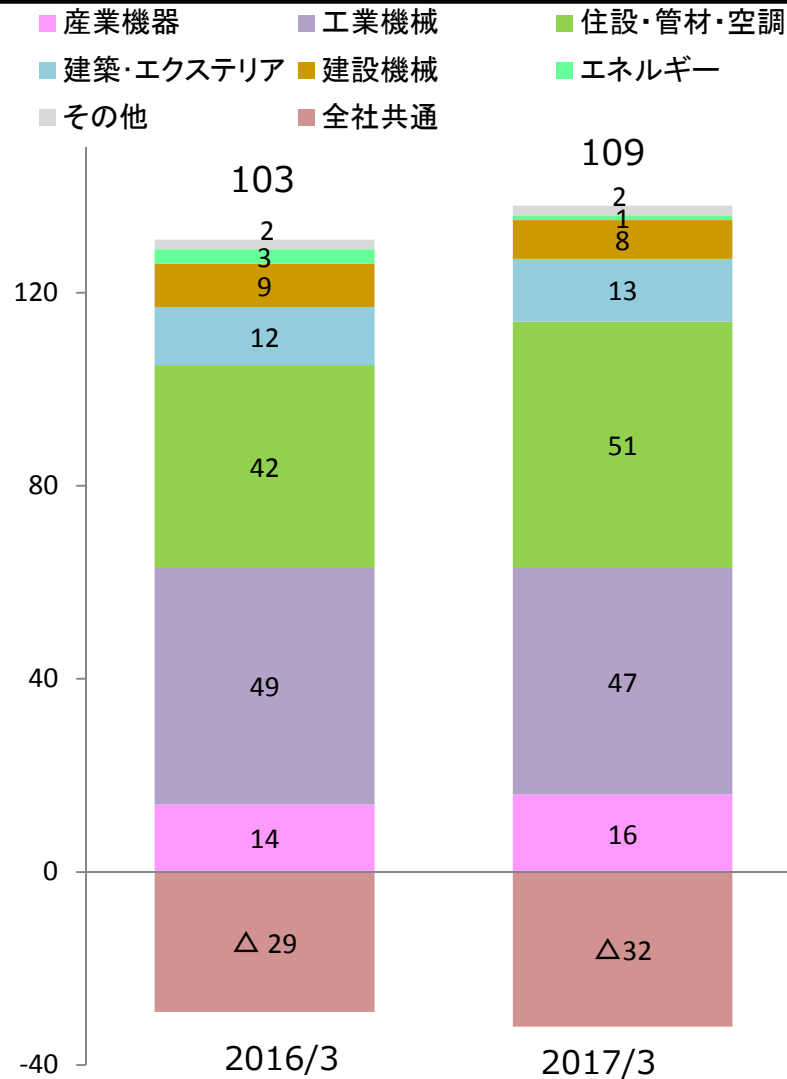


(単位：億円)	2016年3月期	2017年3月期	増減額	増減率
	実績	実績		
売上総利益	405	426	+21	+5.2%
売上総利益率	9.2%	9.6%	+0.4ポイント	-
販売費及び一般管理費	301	317	+15	+5.1%
営業利益	103	109	+5	+5.5%
営業外収益 (受取利息、配当金、他)	18	19	+1	-
営業外費用 (支払利息、他)	11	11	+0	-
経常利益	110	117	+6	+6.0%
特別利益	1	2	+1	-
特別損失	3	3	△0	-
税金等調整前 当期純利益	107	116	+8	+8.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	71	77	+5	+8.2%

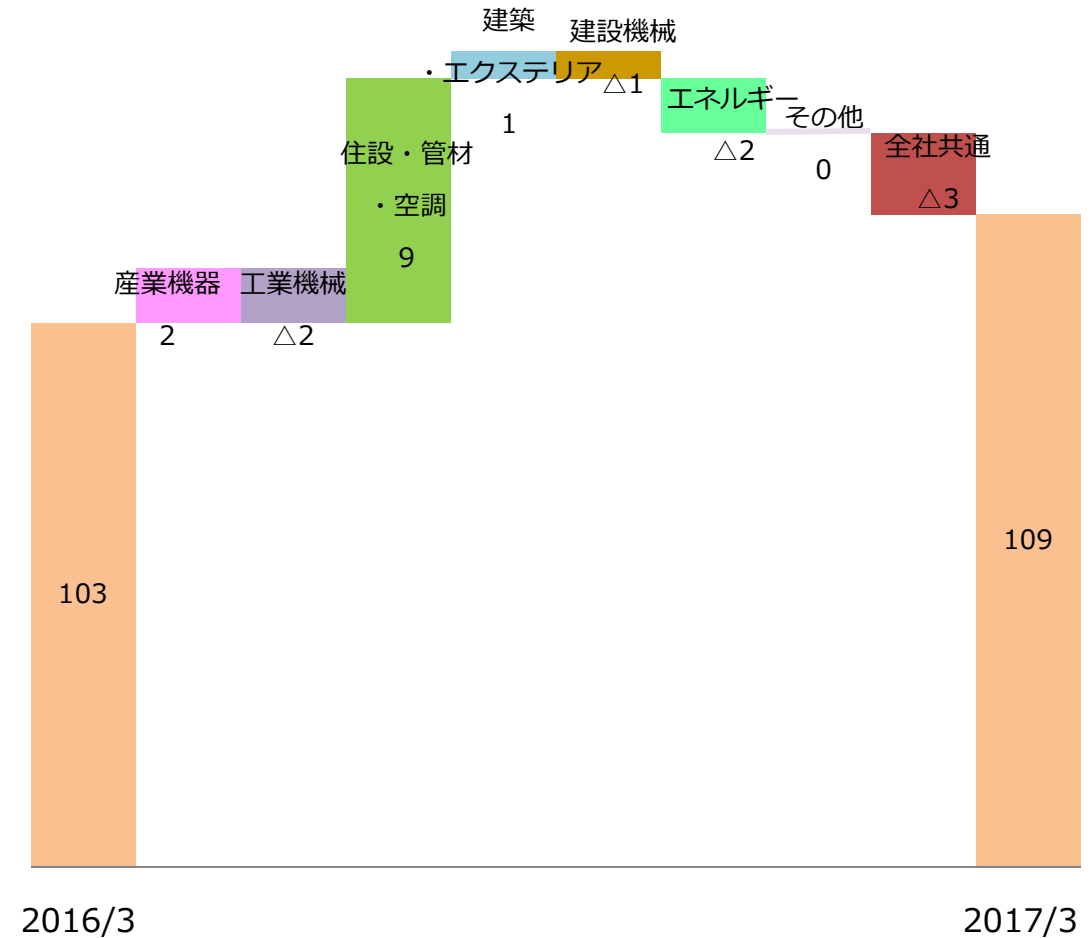
セグメント別営業利益（2期比較）



セグメント別 営業利益 （単位:億円）



セグメント別 営業利益増減 （単位:億円）



連結貸借対照表

(単位：億円)



2016年3月期		2017年3月期		2016年3月期	
流動資産 1,690	+69	流動資産 1,759		流動負債 1,410	
		流動負債 1,460	+50		
		固定負債 61	+15	固定負債 45	
固定資産 338	+72	固定資産 410	+75	純資産 573	
		純資産 648			

負債1,521億円
(+65億円)

期末長短借入金残高
31億円（前年比△18億円）

ネット有利子負債残高
△303億円

総資産2,169億円（+140億円）

- ・ 現金及び預金 +27億円
- ・ のれん +20億円
- ・ 投資有価証券 +21億円

純資産648億円（+75億円）

- ・ 利益剰余金 +52億円
- ・ 自己資本比率 29.6%（期初予想値30.0%）
- ・ ROE（自己資本当期純利益率）12.9%（期初予想値13.0%）

連結キャッシュフローの状況



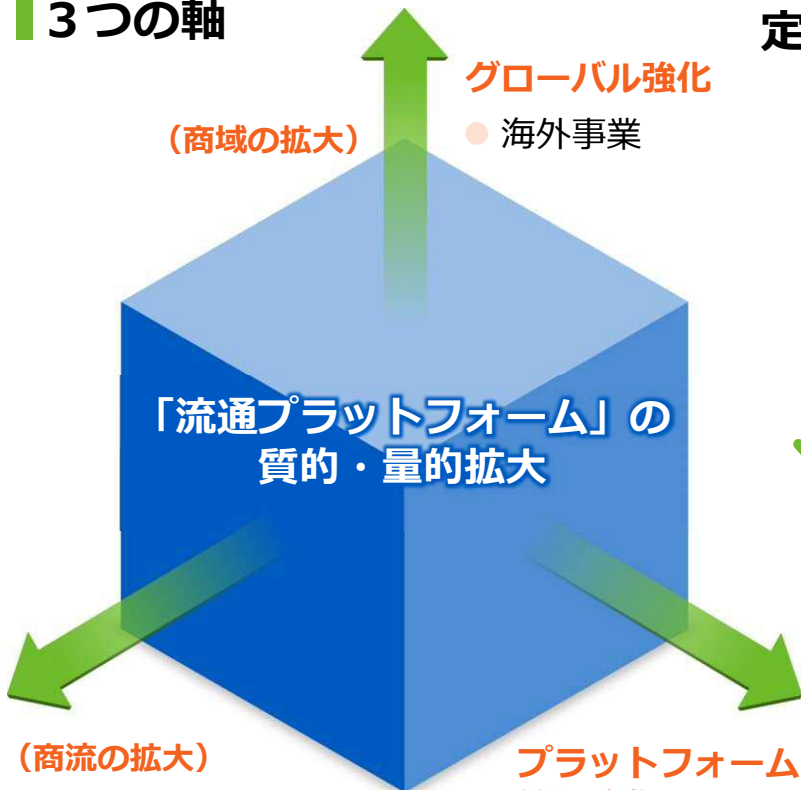
(単位：億円)	2016年3月期	2017年3月期	前年比
営業活動による キャッシュ・フロー	91	119	+27
投資活動による キャッシュ・フロー	△5	△36	△30
財務活動による キャッシュ・フロー	△89	△55	+34
現金及び現金同等物 に係る換算差額	△1	△1	+0
現金及び現金同等物の増減額	△5	26	+32
現金及び現金同等物の期首残高	310	304	△5
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	－	1	+1
非連結子会社との合併による現金及び 現金同等物の増加額	－	0	+0
現金及び現金同等物の期末残高	304	332	+28

前中期経営計画の振り返り～YUASA LEGACY 350

Growing Together
ともに挑む。

3つの軸を拡大し、アジア最大級の「産業とくらしの流通プラットフォーム」の基盤を構築。
さらなる競争優位のポジションを確立すると同時に、
連結経常利益額100億円以上を常態化できる強固な経営基盤を確立します。

3つの軸



定量目標

成長分野（海外、環境エネルギー、国土強靱化）を伸ばしながら

	2015.3 実績	2016.3 実績	2017.3 予想	2017.3 実績
連結売上高	4,417億円	4,420億円	4,470億円	4,463億円
連結経常利益	103億円	110億円	113億円	117億円
連結経常利益率	2.3%	2.5%	2.5%	2.6%
連結当期純利益	74億円	71億円	75億円	77億円

経営効率の向上&財務体質の強化

ROE	15.6%	13.2%	13.0%	12.9%
自己資本比率	25.5%	28.0%	30.0%	29.6%

安定的な配当

連結株主還元率	24.9%	30.6%	27.9%	27.0%
---------	-------	-------	-------	-------

国内成長分野の開拓

- 環境エネルギー事業
- 国土強靱化対応事業
- 6つのコア事業セグメント

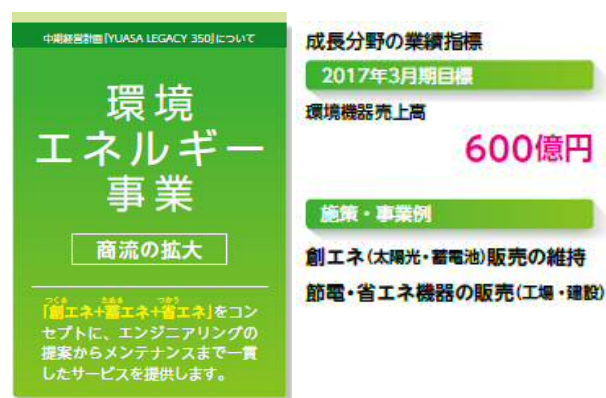
- 情報力強化
- 人材力強化
- 本社機能強化
- 財務体質強化

前中期経営計画の振り返り～成長戦略

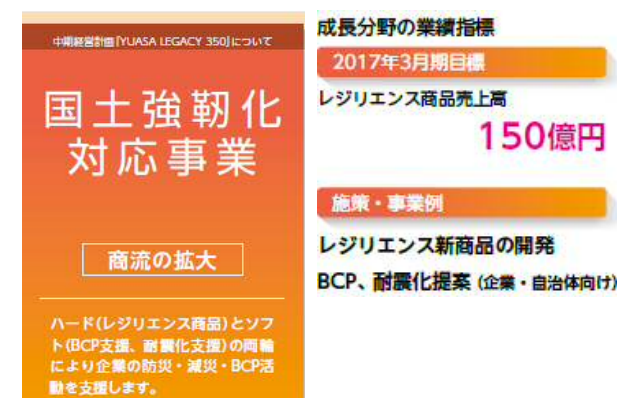
Growing Together
ともに挑む。



2017年3月期実績
321億円 (計画比78.3%)



2017年3月期実績
574億円 (計画比95.7%)



2017年3月期実績
124億円 (計画比82.7%)

成長事業については、新中期経営計画において再チャレンジ

コア事業強化

■エンジニアリング機能強化



- 住宅設備機器、管工機材、建築資材及び太陽光発電の販売・施工



- 防護柵、フェンス、門扉、防球ネット、シェルター、アルミ柵、ステンレス柵、高欄、親柱、車止、公園資材等販売・施工



- 冷暖房空気調和設備の設計施工
- 給排水衛生設備の設計施工
- 防災設備の設計施工他

経営基盤強化

■ロジスティクス機能強化

産業とくらしの流通プラットフォーム

ユアサ商事関東物流センターが始動

多様な取扱商品を多様な機能とともに提供する「産業とくらしの流通プラットフォーム」として、お取引先さまのお役にたてる物流サービスを展開いたします。



2018年3月期 業績計画

連結業績計画



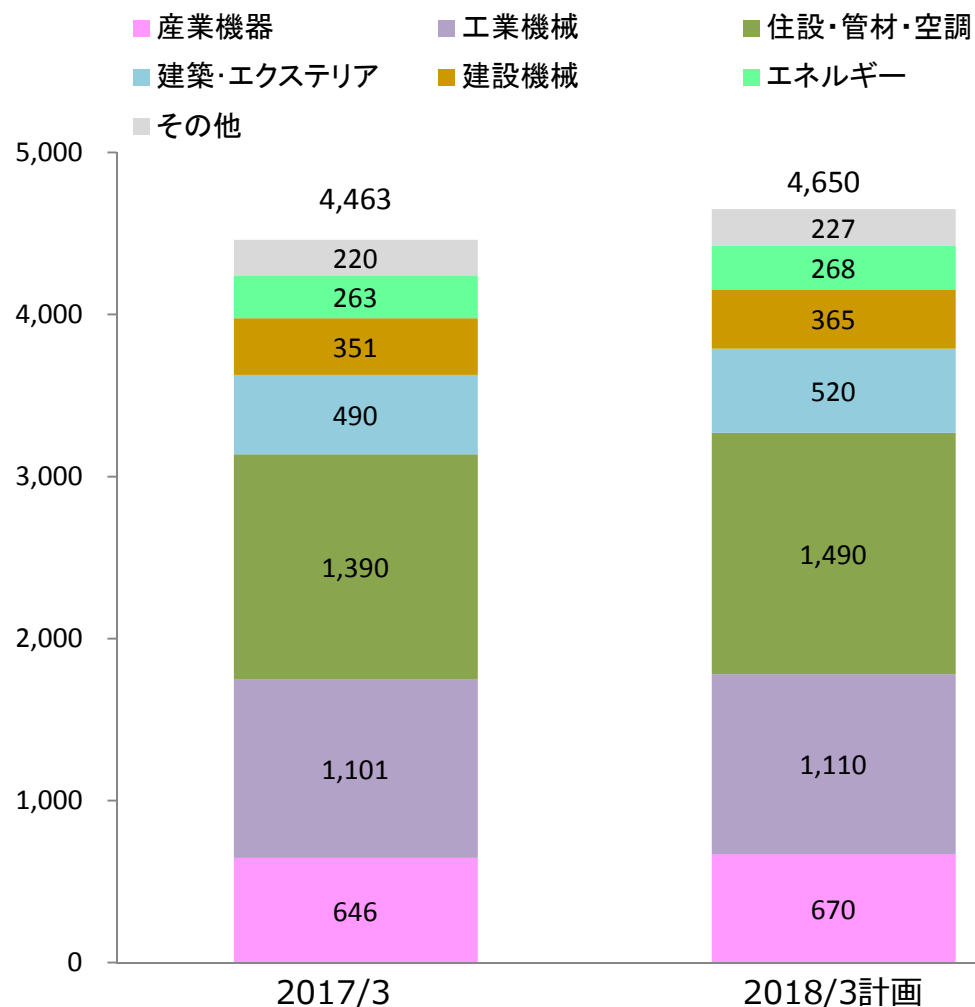
(単位：億円)	2017年3月期	2018年3月期		
	実績	前半計画	後半計画	通期計画
売上高	4,463	2,150 (+5.8%)	2,500 (+2.8%)	4,650 (+4.2%)
売上総利益	426	210 (+8.6%)	245 (+5.2%)	455 (+6.8%)
(売上総利益率)	9.56%	9.77%	9.82%	9.79%
販売費及び一般管理費	317	171 (+8.8%)	170 (+6.9%)	342 (+7.8%)
営業利益	109	38 (+8.1%)	74 (+1.6%)	113 (+3.7%)
(営業利益率)	2.4%	1.8%	3.0%	2.4%
経常利益	117	42 (+7.4%)	77 (0%)	120 (+2.5%)
(経常利益率)	2.6%	2.0%	3.1%	2.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	77	28 (+5.1%)	51 (+2.4%)	80 (+3.3%)

セグメント別連結売上高計画

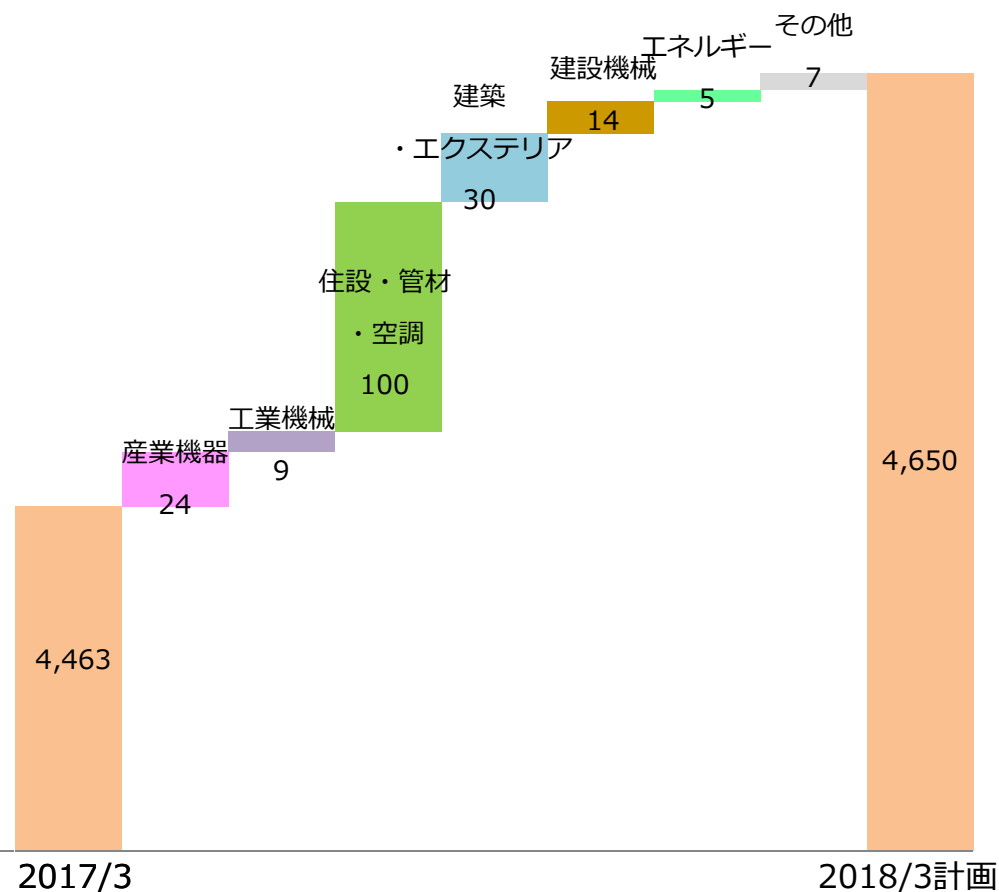
Growing Together
ともに挑む。

- 住設・管材・空調分野は、ZEH・ZEB等に関わる高性能設備機器の販売により増収
- 建築・エクステリアは、東京オリンピック・パラリンピック等のインフラ整備や補強などの需要を取り込み増収

セグメント別 売上高 (単位: 億円)



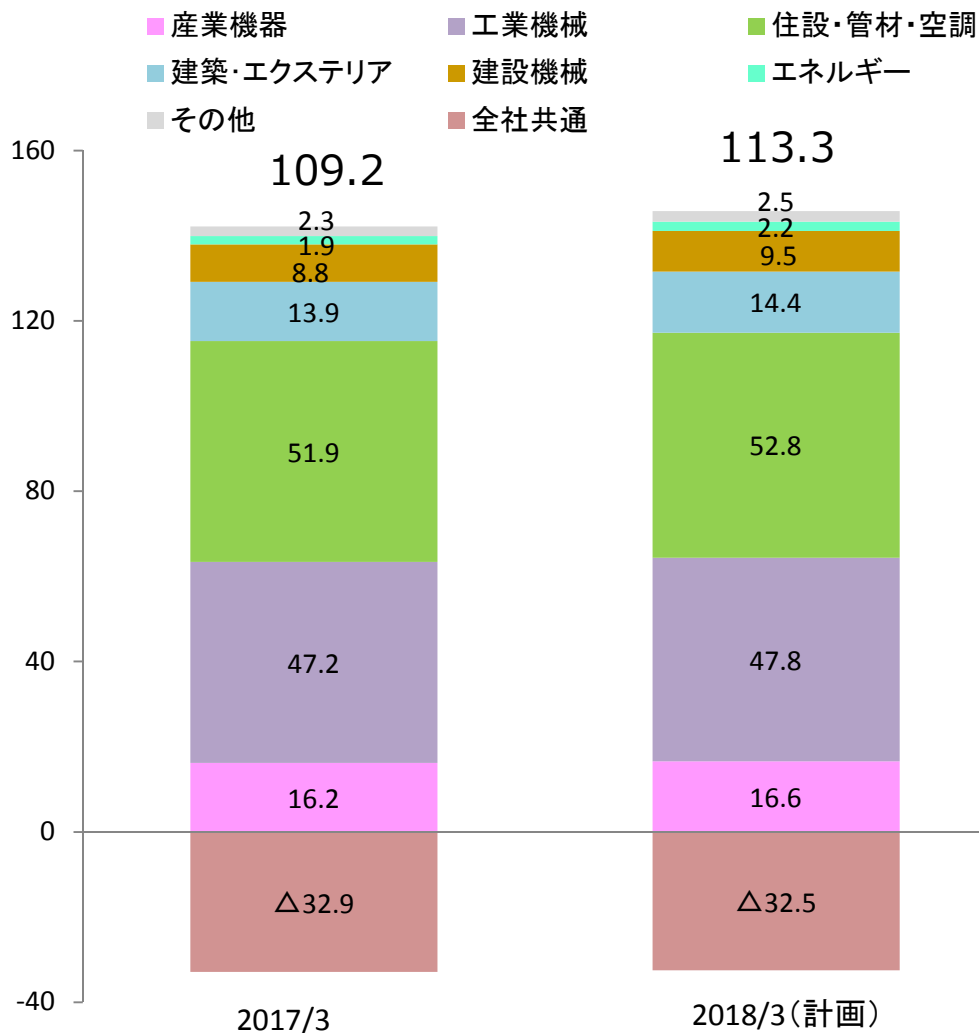
セグメント別 売上高計画増減 (単位: 億円)



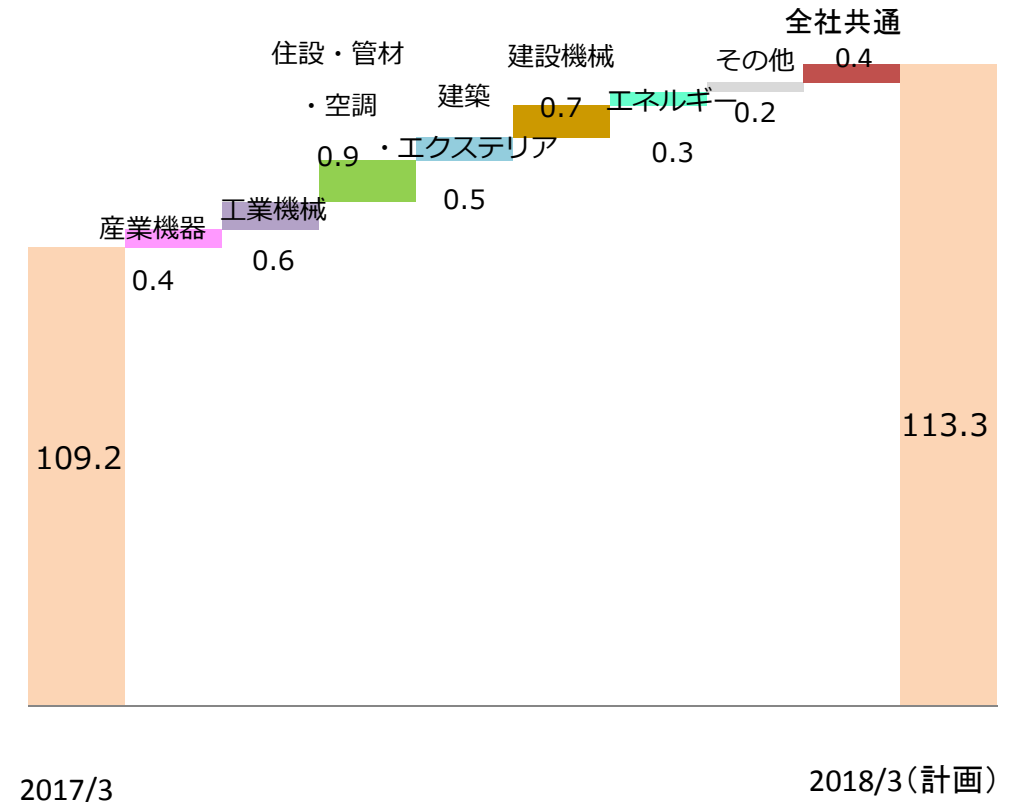
セグメント別連結営業利益計画



セグメント別 営業利益 (単位:億円)



セグメント別 営業利益 増減 (単位:億円)



ユアサ商事グループ新中期経営計画

2017.4 – 2020.3

Growing Together 2020

ともに挑む。



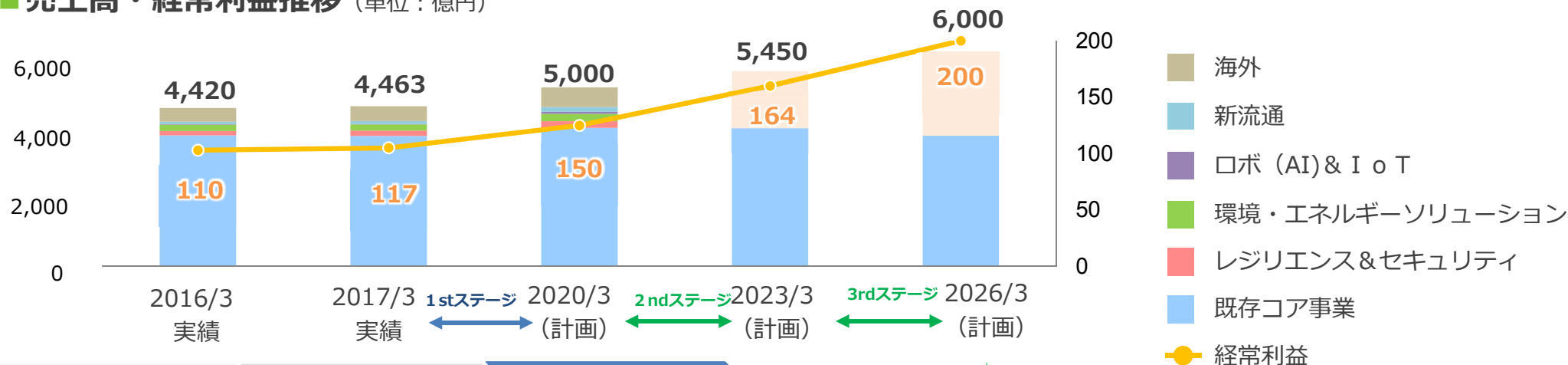
ユアサ商事株式会社

ユアサビジョン360（9年後（創業360周年）のビジョン）

Growing Together
ともに挑む。

業界トップレベルの収益構造を持つ専門商社グループへの成長を目指します。

■ 売上高・経常利益推移（単位：億円）



NEXTAGE2014

YUASA LEGACY350

Growing Together2020

【新中期経営計画「Growing Together 2020」】
－「コア事業の機能強化」と「成長事業の再強化」－

2020年
定量目標

売上高：5,000億円・経常利益：150億円
経常利益率：3.0% 売上高目標

成長事業
戦略

①海外事業	： 550億円
②新流通事業	： 130億円
③ロボ (AI) & I o T 事業	： 50億円
④環境・エネルギーソリューション事業	： 200億円
⑤レジリエンス&セキュリティ事業	： 190億円
計	1,120億円

経営指標

ROE:12.2%・株主還元率：33.0%
(年間投資枠：当期純利益の1/3)

【ユアサビジョン360】（9年後（創業360周年）のビジョン）
業界トップレベルの収益構造を持つ専門商社グループへと成長する

2026年
定量目標

売上高：6,000億円・経常利益：200億円
経常利益率：3.3%

成長事業
戦略

中期経営計画の第1ステージである
「Growing Together 2020」の進捗や事業環境の変化に応じて、第2ステージ（2020年～2023年）、第3ステージ（2023年～2026年）にて新たな成長事業の追加を含めたローリング（見直し）をすすめてまいります

経営指標

ROE:11.7%・株主還元率：33.0%
(年間投資枠：当期純利益の1/3)

「機能強化」と「成長事業強化」をさらに追求。
9年後（2026年・創業360周年）のありたい姿に到達するために
収益構造を改革する第1ステージとします。

－「コア事業の機能強化」と「成長事業の再強化」－

Growing Together 2020

ともに挑む。

定量目標	2017年3月期実績	2018年3月期計画	2020年3月期計画
売上高	4,463億円	4,650億円	5,000億円
営業利益	109億円	113億円	142億円
営業利益率	2.4%	2.4%	2.8%
経常利益	117億円	120億円	150億円
当期純利益	77億円	80億円	100億円
ROE	12.9%	－	12.2%
株主還元率	27.0%	27.5%	33.0%

①コア事業の機能強化 ②成長事業の再強化 ③経営基盤の強化

ありたい姿

お取引先様と「ともに」成長分野・事業を開拓し、「ともに」成長する

①コア事業の機能強化

既存機能の強化

- 【エンジニアリング機能】
自動化ライン対応力強化に向けたエンジニアリング機能強化
当社グループで対応できる工事種別のフルラインナップ化
- 【ロジスティック機能】
I Tを活用したロジスティック機能の全国展開

新機能の開発

- 【情報発信機能】
業界トップレベルの商品検索サイトによる商品情報の発信

②成長事業の再強化

グローバル成長

- 【東南アジア&米国】生産財販売事業でのシェア拡大
- 【中国】自動化ライン対応力強化
- 【東南アジア】環境エンジニアリング事業強化
- 【東南アジア】建機販売事業強化

国内成長分野の開拓

- 【ロボ（A I）& I o T】（※1）S I 機能を発揮
- 【環境・エネルギー】（※2）Z E H分野に注力
- 【レジリエンス&セキュリティ】
セキュリティ&社会インフラ分野に注力
- 【新流通】販売先様との電子商取引事業の拡大
（※1）システム・インテグレーション （※2）ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス



③経営基盤の強化

- 人材育成 : 次期マネジメント人材の選抜・採用・育成強化
: あるべき「働き方改革」の実行、多様な人材活用（女性活躍推進）
- 情報インフラ: 業務の効率化と生産性向上のための情報インフラ整備
- 自己資本比率のさらなる充実 ● 内部統制機能のさらなる強化

成長事業①海外事業



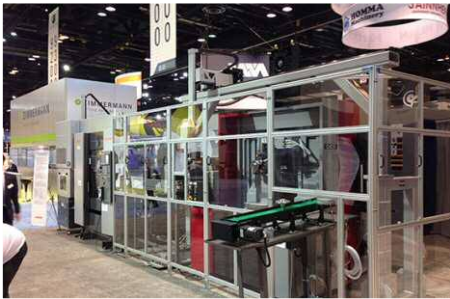
東南アジア、北米エリアでの新商品 & 新機能展開により生産財の輸出事業を拡大します。

強化ポイント

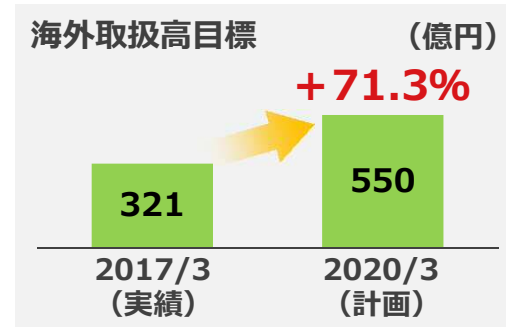
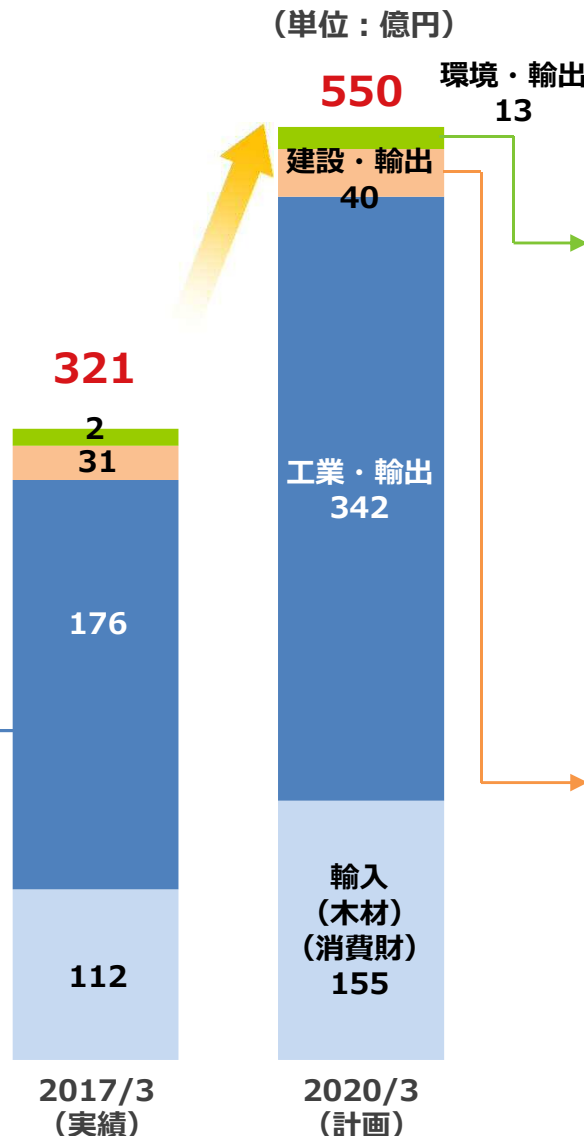
- 工業分野は東南アジア & 米国での生産財販売のシェアを拡大します
- 環境分野ではタイにおけるエンジニアリング事業、建設分野ではマレーシアでの建機販売事業を強化します

工業分野（輸出）

東南アジア & 米国での生産自動化ライン（ロボットエンジニアリング事業含む）の提案を強化します



当社が米国で提案中の自動化ライン（マシニングセンタ & 旋盤 & ローター）



環境分野（輸出）

2016年にタイに新設したエンジニアリング会社（YESTH）を核に東南アジアでの環境エンジニアリング事業を拡大します



タイ日系工場での太陽光発電事業

建設分野（輸出）

マレーシア現地法人（YCE）を核に東南アジアでの産業用レンタル商材を拡充します



東南アジアにおいて需要が拡大する高所作業車

成長事業②新流通事業

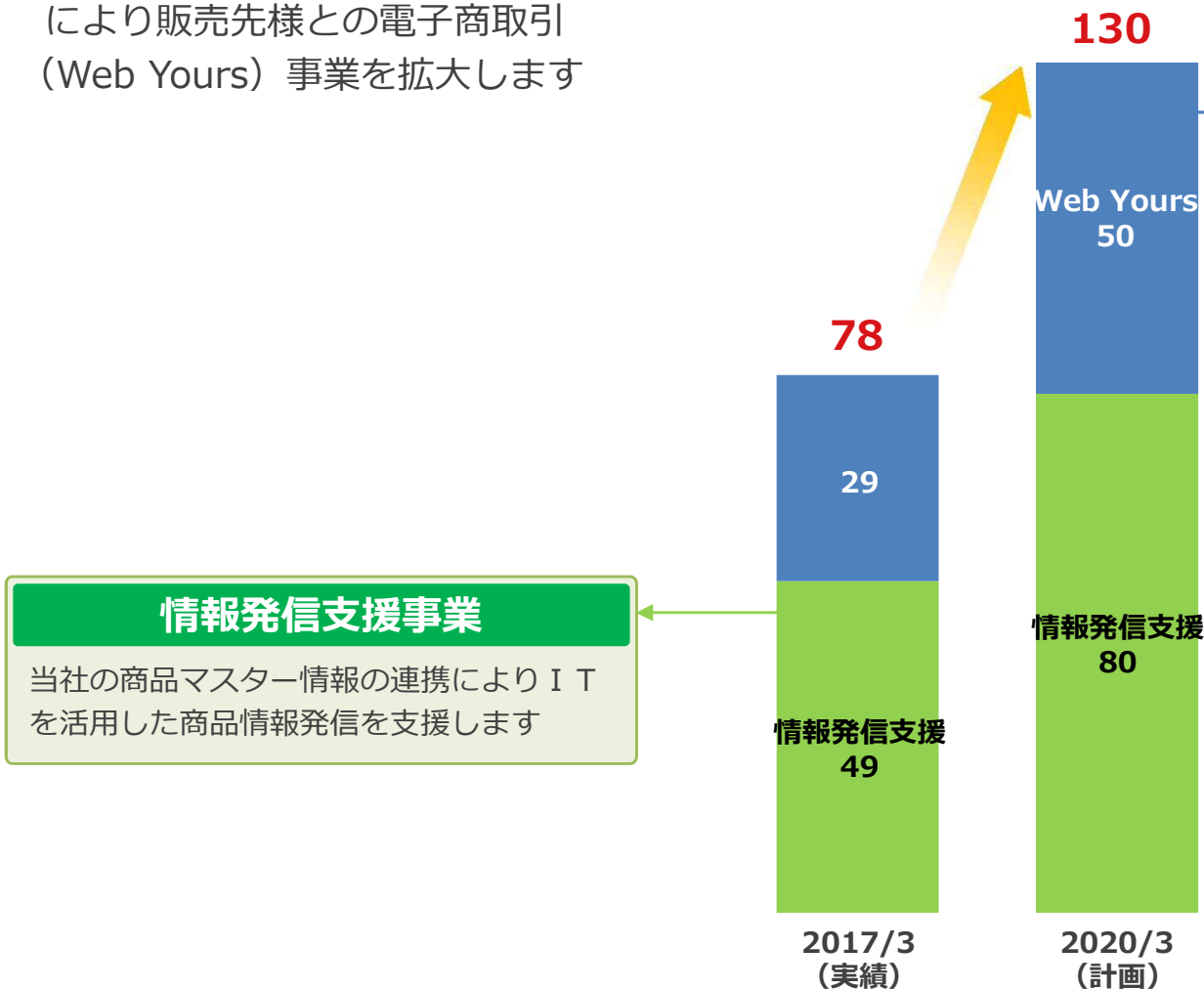
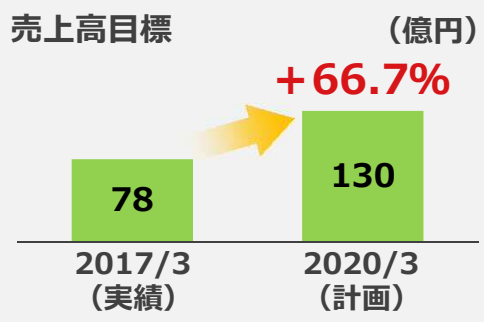


ITを活用した情報発信機能を強化し、
販売先様との電子商取引（Web Yours）事業を拡大します。

強化ポイント

- 商品検索サイトの新設（2018年5月予定）
により販売先様との電子商取引
（Web Yours）事業を拡大します

（単位：億円）



情報発信支援事業

当社の商品マスター情報の連携によりITを活用した商品情報発信を支援します

電子商取引（Web Yours）事業

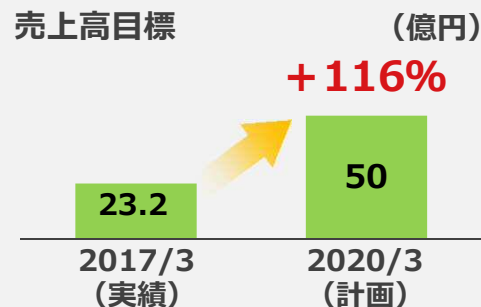
当社が持つ商品データベース（登録点数200万点以上）を再整備し、販売先様より当社の電子商システムWeb Yoursで注文できる仕組みを構築します

新商品検索サイト公開予定時期
2018年5月

成長事業③ロボ&IoT事業

Growing Together
ともに挑む。

システムインテグレーション機能の発揮により、
工業・住環境・建設の各分野においてロボ（AI）&IoT
によるソリューション営業を展開します。



(単位：億円)

住環境分野

IoT対応機器の設置からデータ収集・分析、改善提案までの一貫したソリューション営業を展開します

(遠隔状態監視システム、故障予知、他)

24時間オンラインメンテナンスシステム



工業分野



2016年7月に
ロボットエンジニアリング（株）を設立し、
産業用ロボットのセットアップや
アフターサービスを専門に請け負う体制を
整備いたしました

SI（システム・インテグレーション）機能を持ったロボットエンジニアリング体制の整備により、工場の自動化支援を提案します

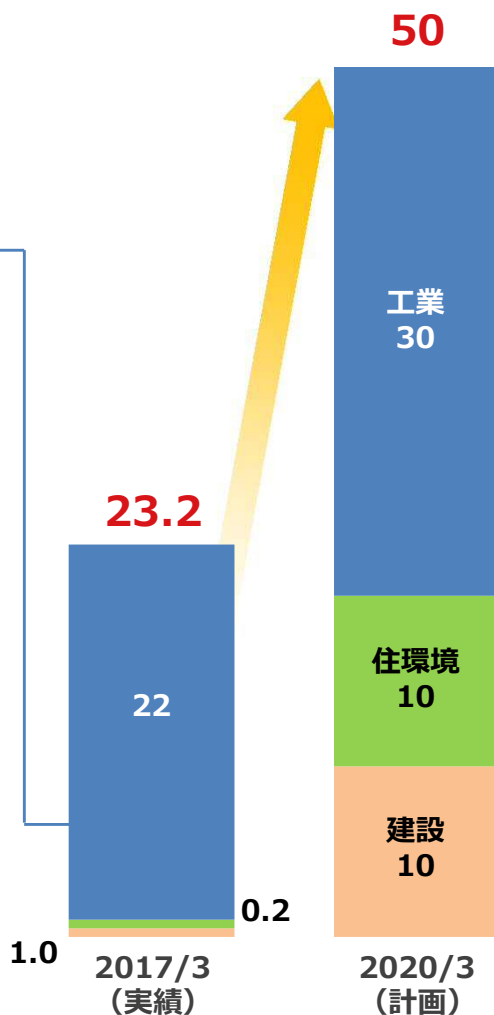
建設分野



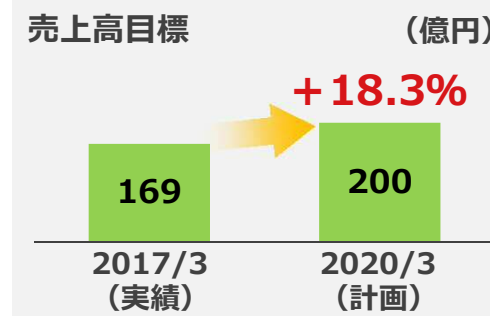
物流倉庫でも利用が拡大中の
パワーアシストスーツ

より人間らしい仕事や生活を実現する新商品提案を推進します

(ロボットスーツ、掃除ロボット、他)



「エネルギー全量自家消費時代」に向け、
オリジナルパッケージプランでの
ソリューション提案を強化します。



(単位：億円)

住環境分野



ZEH (ゼッチ) パッケージプラン 商品提案事例

- ZEHコストシミュレーションソフトの提携先を増やします
- 太陽光発電システム周辺機器（蓄電池、パワーコンディショナー、他）のシステム販売を推進します
- オリジナルパッケージプラン（パネル＋パワコン＋架台、パネル＋大型物置、他）の提案を推進します
- 高効率空調機や給湯器等の中高級機種システムの販売を推進します
- 「ユアサの電気」「ユアサO & M」「ユアサオリジナル10年保証」等のセット提案に注力します

169
1.8

164.9

2017/3
(実績)

200

工業
8.9

住環境
188

2020/3
(計画)

工業分野

工場内の環境改善やエネルギーの使用合理化に貢献する設備・機器のシステム販売を推進します



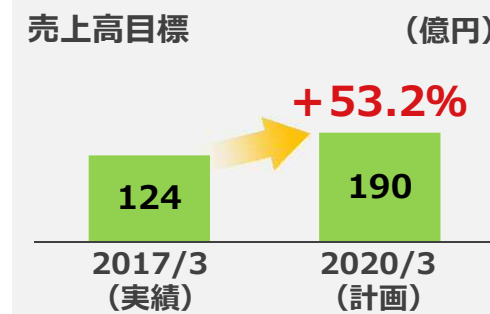
困いがない次世代のクリーンベンチ (KOACH)

建設分野

蓄電池搭載関連商品（投光器他）の販売を推進します

建設
3.1

「レジリエンス&セキュリティ」の パッケージ提案による ソリューション営業を展開します。(単位：億円)

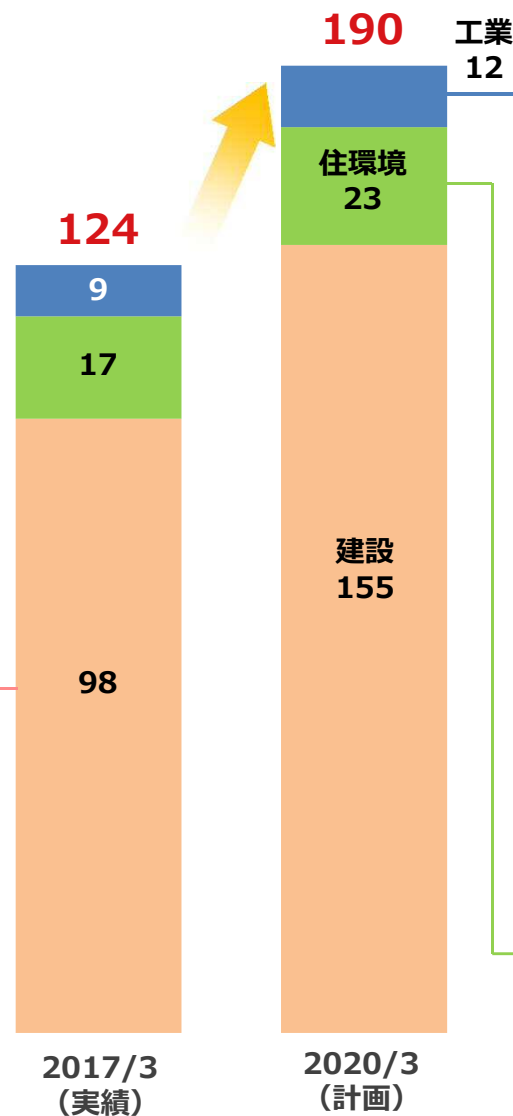


建設分野



レジリエンスステーション
(防災倉庫+備蓄品パッケージ) 設置事例

- レジリエンスステーションの提案営業を推進します
- セキュリティ商材（監視カメラ、高機能フェンス、他）の提案営業を推進します
- 耐震補強商材（事業所向け耐震補強、耐震診断）の提案営業を推進します
- 社会インフラ補強商材（橋梁補強、法面工事）の提案を推進します



工業分野

- BCP対策として蓄電池や発電機の提案営業を推進します
- セキュリティ対策として各種検査装置、監視カメラシステム、データ管理システムの提案を推進します



X線を利用した異物検査機。セキュリティ商材として食品業界などの需要が見込まれる

住環境分野

- ポンプやトイレなど、災害時に不可欠な水のレジリエンス商材を拡販します

株主還元方針と配当金・配当利回りの推移

Growing Together
ともに挑む。

株主還元

●財務の健全性を維持しつつ、事業活動を通じて創出した利益を成長分野へ投資することにより、1株当たり当期純利益を増大させ、株主価値の向上を図ります。

●継続的かつ安定的な配当を実現します。

●株主還元率33%以上を目標とします。

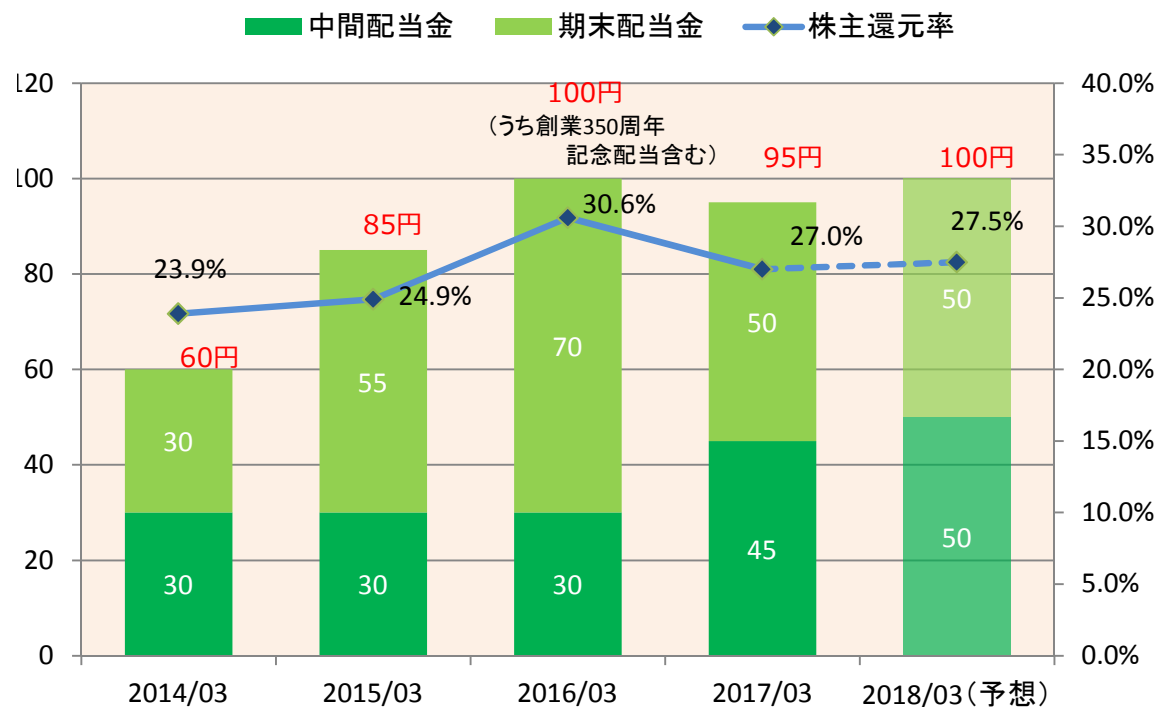
※成長事業投資

・新事業への投資、M&Aの活用、人材育成投資、

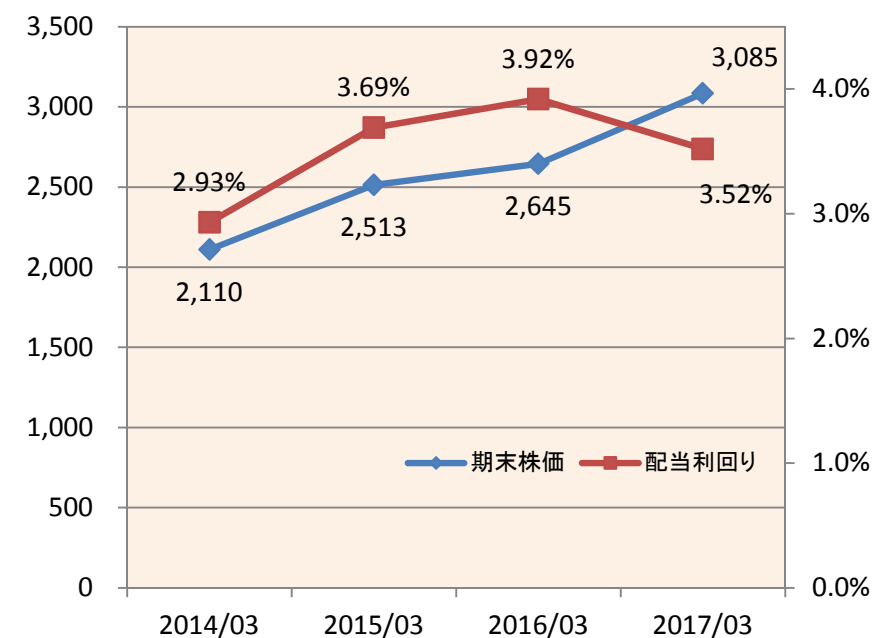
I T & ロジスティックへの投資

・年間投資枠：当期純利益の1/3

1株あたり配当金と株主還元率の推移（単位：円）



配当利回りと株価の推移



グラントフェア2017概要

産業とくらしの「グランドフェア2017」開催

Growing Together
ともに挑む。



全社キャンペーンテーマ
Growing Together
ともに挑むミライの産業とくらし

特別講演のご案内

人工知能が拓く「産業とくらし」

「産業とくらしのグランドフェア2017」の特別講演は、今話題の人工知能について分かりやすくご講演いただきます。

2017年は「AI元年」となると言われるほど人工知能が目玉されており、テレビや新聞報道で人工知能の話題が出ない日はないといっても過言ではありません。

多くの研究者が研究開発を行い、世界の有名企業がすでに実用化しており、私たちを取り巻く「産業とくらし」も大きく変化しようとしています。

本講演は、「産業とくらし」の未来で、人工知能が提供する新たな価値やイノベーションというテーマで、人工知能分野のトップ研究者松原 仁先生（公立こたて未来大学副理事長）をお迎えして、人工知能の現在と未来を解説いただきます。

明日からのビジネスに活かせるヒントが見つかる絶好の機会です。是非とも会場へお越しください。

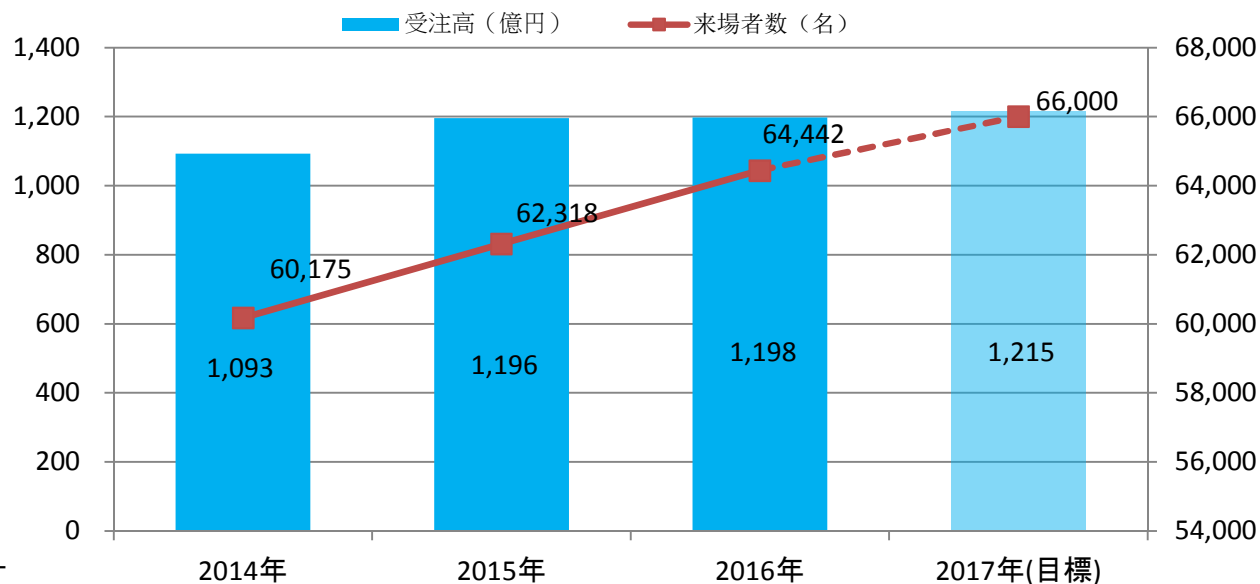
講師 公立こたて未来大学 副理事長
システム情報科学部 情報系知能学科 教授
工学博士 松原 仁（まつばら ひとし）

プロフィール
1959年生まれ。1981年東京大学工学部機械工学科卒業。1983年同大学大学院工学研究科機械工学専攻修士課程修了。1984年同大学工学部機械工学科助教授。1991年同大学工学部機械工学科教授。2001年同大学工学部機械工学科長。2007年同大学工学部機械工学科長。2011年同大学工学部機械工学科長。2013年同大学工学部機械工学科長。2015年同大学工学部機械工学科長。2017年同大学工学部機械工学科長。

日程 2017年 7月7日(金)
時間 11:00~12:00
会場 幕張メッセ 国際会議場 201会議室
登録料 無料

上記についてのお問合せは下記までお問い合わせください。
ユアサ商事株式会社 総合企画部 増子 綾本 TEL 03-6368-1133 FAX 03-6368-1134

地域	期日	会場	受注高目標	来場者目標
関東GF	7/7(金)~7/8(土)	幕張メッセ	580億円	23,000名
東北GF	7/21(金)~7/22(土)	夢メッセみやぎ	83億円	8,000名
中部GF	9/1(金)~9/2(土)	ポートメッセなごや	218億円	12,000名
九州GF	9/8(金)~9/9(土)	マリンメッセ福岡	86億円	9,500名
関西GF	9/15(金)~9/16(土)	インテックス大阪	248億円	13,500名
合計	—	—	1,215億円	66,000名



AI業界における研究の第一任者である松原仁先生による特別講演会を開催いたします

◆本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に含まれる当社の将来における計画、戦略、業績に関する見通しの記述については、当社が同日の段階で把握可能な情報から判断したもので、不確定要素を含んでおります。

これらの見通し等は、内外の政治経済情勢、主要市場における需要動向の変動、諸制度の変更など様々な重要な要素により実際の業績と異なる結果となることがあります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願いいたします。

また本資料を利用した結果として生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

◆本日のプレゼンテーションの中には、弊社の予想、確信、期待、意向および戦略など将来の予測に関する内容が含まれています。

これらは弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化による変動可能性など様々な要因によって、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があります。

弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、改訂する義務を負うものではありません。



ユアサ商事株式会社 総合企画部

〒101-8580 東京都千代田区神田美土代町7番地

TEL. 03-6369-1133 E-mail. souki@yuasa.co.jp